

広報

肱川

1989

1月



No. 70



昭和から平成へ

—習字教室も

新年号を書き初め—

1月8日、年号は昭和から平成へと改まりました。
 新しい時代を背負う少年たちが、新年の決意を胸に書き初めをしました。
 真っ白い紙に力強く書いた文字は「平成」の二字。「内平かにして、外成る」平和を願ってつけられたというこの平成の時代は、戦争のおきない時代であってほしいものです。

[写真：「平成」を書き初めた習字教室のみなさん 1月16日公民館集会室]

今月号の主な内容

—町報—

- ◆新春長寿番付を発表…………… 3
- ◆農業研修会講話要旨…………… 4
- ◆12月定例町議会…………… 8
- ◆1口医学「かぜの予防」……………11

—農林だより—

- ◆北海道旅行案内……………13

- ◆儲かる林業経営……………14
- ◆木材市況……………14
- ◆今月の農作業……………15

—公民館報—

- ◆文化講演会講演要旨……………16
- ◆みんなのしあわせを願って……………19

町民のうごき

人口 3,672人 (-4)
 男 1,787人 (±0)
 女 1,885人 (-4)
 世帯数 1,036 帯 (±0)

(昭和63年12月末日現在)

年頭の「あいさつ」

謹賀新年

新年のさわやかな朝の光を拝し、生あることに感謝し、肱川の将来の幸せを祈念した次第です。おそろいで良い年をお迎えることと拝察いたします。今年もよろしくおねがい申し上げます。

時代の変化、きびしい現実の中で、行政課題は次第に増加し、その役割もさらに主要なものになってきていると思います。それらに対応していかねばなりません。然し、行政課題は町民課題であります。町民自らの力によって解決していかねばならないものと考えます。「むらおこし」も同じであります。今年も、肱川の活力をより高めるために「肱川風おこし運動」を前進させ、攻める・飛躍する・創造する肱川づくりに努力したいと思えます。

各位のご理解、ご協力を切にお願い申し上げます。
昭和六十四年元旦
肱川町長 大野 和
議会議長 大田 恒

肱川町について



肱川中学校2年 松本 和則

風おこし大会発表作文

今の肱川町は、いろいろな行事やお祭りがあってとても楽しい、いい町だと思う。でも、肱川の広報などを見てみると、肱川町の人口はどんどん減っていくので、これからどうなるのか心配だ。現在の肱川町の人口は、三、七四〇人ぐらいだけど、一番多い時には、今の二倍も人がいたそう。昔と比べるとそれほど減ったかよくわかる。中学校でも新入生の人数が少なくて、今年はずっと一クラスになった。中学校を統合したときには、六〇〇人も生徒がいたそうだが、今はなんと、生徒が一五四人と四分の一に減っている。どうしてこんなに減ってしまったのだろうか。

は、町の人みんなが考えるべき問題だと思う。一般的には、もっと観光地を増やすとか、工場をつくるとか、特産物のしいたけや栗をもっと売って売り出すとか考えられる。けれど、実際には、肱川の美しい自然を残しつつ開発を進めることは難しいことだろう。

観光開発の一つとして、六十二年四月「鹿鳴園」がオープンし、「子鹿誕生」のニュースが、最近、新聞などで報道された。ほくも行ってみたいけれど、プールやテニスコート、宿泊施設、そして、鹿たちのいる公園があったとしても楽しい所だった。僕は、テニス部に入っているのですが、ぜひ今年、あのような本格的なテニスコートで試合をしたい。また、夏休みにでも、みんなで合宿して練習できたらいいなと思っている。そして、利用者はぼくたちだけでなく、もっと町外の人たちにも来てほしい。新聞やテレビ、パンフレットなどで、どんどん宣伝すればいいと思う。

それから、肱川町には、祭りがよくある。僕は祭りごとが大好きだ。夏祭りや秋祭りなどの伝統的な祭りもあるし、「ふれあいまつり」のような最近始められたものもあるが、とにかく、祭りはにぎやかでいいものだ。僕の住んでいる正山地区では、秋に牛鬼祭りがあって、一年中で一番楽しみな行事となっている。牛鬼をかつぐのは重いけど、あとで、ご祝儀をもらうので、必死でがんばるのだ。また、鹿野川の夏祭りには、花火大会がある。大きな音とともにさく裂する美しい打ち上げ花火を見てみると、こんな小さな町でもやることは大きいと思う。ふれあいまつりでは、男子のすもう大会が行われ、僕も毎年参加している。去年の大会はあいにく雨だったが、みんな一生懸命、体当たりの勝負の連続で、肱川は河辺に圧勝した。すもうが終われば、食券をもらって、出店の並んだ河原を、友だちといっしょに食べ歩きすることも、楽しみの一つだ。こんなお祭りや、肱川独特の催しが、これからももっと増えたいと思う。

僕は、僕の生まれ育った肱川町で、これからも、ずっといたいと思っている。もし万一、大きくなってこの町を出ることがあっても、肱川の祭りのことや美しい自然を忘れず、またもどってきたい。一五年・二〇年先の肱川はいったいどんな町に変わっているだろう。きっと、交通は便利になり、産業は発展し、観光地としても栄えているだろう。しかし、自然に恵まれた、今の肱川よさが残っている「ふるさと」であってほしい。人間と自然が調和した町づくり、それが大切だと思う。

風信

去年今年区切らぬ 風の流れあり 「都会をふり返らず地域づくりは何か。それは風であるとの再認識を得る。それは風土であり、風景、風習、風味である。肱川の四つの風をみつめ直し新しい風を」

桜田和明君、東京研修の感想文である。日本の名著、和辻哲郎「風土」は「風は太陽が海の水を陸に運ぶ車」、そして生れる自然条件の相違で風土を三つの類型に分けている。大地、その上にある自然、生物、あらゆるものが織りなすもの、土のかわりで生まれるものが風土であり、モノも心も渾然一体と私は思っている。肱川よき風土を未来に継承していかねばならぬ。

カルガリーではオリンピックの火を最終ランナー十四歳の少年に引き継いだ。間もなく少年の日、「今日二明日ヲ継クニ異ラサラム 明恵上人」であった。今日に明日を継ぐものが「想」であり、「祈」であり、行動に結びたい。

「念ずれば花開く」 行動に移せば 實を結ぶ (町長)



新春長寿番付

不動の横綱東が橋本、西は増田さん

長寿番付表

(昭和64年1月1日現在)



| 東 | | | | 寿 | 西 | | | |
|------|-------|------------|----|------|------------|------------|------|----|
| 地区 | 氏名 | 生年月日 | 年齢 | 番付 | 地区 | 氏名 | 生年月日 | 年齢 |
| 上鹿野川 | 橋本 音吉 | 明治22. 8. 5 | 99 | 横綱 | 柳 増田 ヨリ | 明治24.12.26 | 97 | |
| 白石 | 寺中 サヲ | 明治27. 5. 3 | 94 | 大関 | 上鯉峨谷 高橋 安一 | 明治27.11.14 | 94 | |
| 山 槌 | 中村スエノ | 明治28. 2.10 | 93 | 関脇 | 下鹿野川 亀田 ヌイ | 明治28. 5. 8 | 93 | |
| 上鹿野川 | 大越モトエ | 明治28. 7.30 | 93 | 小结 | 菟野尾 桧田八重子 | 明治28.11.26 | 93 | |
| 柳 | 森岡ツルヨ | 明治29. 1. 1 | 93 | 前頭筆頭 | 上敷水 岩本壽賀松 | 明治29. 2.25 | 92 | |
| 広 常 | 竹田シゲヨ | 明治29. 3.14 | 92 | 2 | 萩野尾 北川ヒサラ | 明治29. 6.15 | 92 | |
| 瓜生谷 | 堀川 廣衛 | 明治29. 9.25 | 92 | 3 | 久 保 今宮タマル | 明治30. 4. 3 | 91 | |
| 中 野 | 銚岩 覺間 | 明治30. 4.16 | 91 | 4 | 上鹿野川 富永 廣 | 明治30. 4.27 | 91 | |
| 山 槌 | 池田コマツ | 明治30.11.20 | 91 | 5 | 中居谷 西本カメヨ | 明治31. 1.30 | 91 | |
| 上森山 | 石川 萬壽 | 明治31. 2. 4 | 90 | 6 | 嘉 城 畦田ヨシエ | 明治31.12.13 | 90 | |
| 中居谷 | 桜田ミサヲ | 明治32. 1.13 | 89 | 7 | 久 保 兵頭 ヨ子 | 明治32. 2. 6 | 89 | |
| 協 生 | 中宮 久夫 | 明治32. 4.29 | 89 | 8 | 森 兵頭猪三雄 | 明治32. 5. 7 | 89 | |
| 小 倉 | 大森高一 | 明治32. 5.17 | 89 | 9 | 敷 水 池田高太郎 | 明治32. 7. 4 | 89 | |
| 上鹿野川 | 米田フクエ | 明治32. 7.15 | 89 | 10 | 中居谷 木下 万作 | 明治32. 8. 1 | 89 | |
| 小 薮 | 福森シズエ | 明治32. 8.13 | 89 | 11 | 広 常 土井 民 | 明治32.11.18 | 89 | |
| 大 和 | 東 琢雄 | 明治32.12. 3 | 89 | 12 | 共 栄 上野サカエ | 明治32.12.17 | 89 | |
| 大屋敷 | 宮本キミエ | 明治33. 1. 4 | 88 | 13 | 中 野 曾根イシエ | 明治33. 1.12 | 88 | |
| 市之畦 | 松本フユノ | 明治33. 1.25 | 88 | 14 | 大屋敷 新 権次郎 | 明治33. 1.27 | 88 | |
| 郷 | 栗田クニエ | 明治33. 1.30 | 88 | 十両 | 大 和 出水 春好 | 明治33. 3. 9 | 88 | |
| 小 倉 | 瀧野 兼吉 | 明治33. 3.11 | 88 | 2 | 小 薮 二宮 アイ | 明治33. 3.11 | 88 | |
| 郷 | 高岡 ミエ | 明治33. 6.14 | 88 | 3 | 森 浅井サカエ | 明治33. 8.22 | 88 | |
| 中 津 | 玉井関太郎 | 明治33. 9. 5 | 88 | 4 | 汗 生 尾下トクラ | 明治33.10. 4 | 88 | |
| 月野尾 | 山口 高光 | 明治33.11. 3 | 88 | 5 | 上森山 石川トシエ | 明治34. 1. 8 | 87 | |
| 町 | 大野 誠 | 明治34. 1.15 | 88 | 6 | 郷 森岡富士雄 | 明治34. 2. 3 | 87 | |
| 郷 | 三瀬 勇 | 明治34. 3. 9 | 87 | 7 | 見の越 富永ミチエ | 明治34. 4.23 | 87 | |

新春恒例の長寿番付を発表します。
東の横綱は、今年晴れて一〇歳を迎えられる、上鹿野川の橋本音吉さん、西の横綱は、柳の増田ヨリさんです。
六十三年中に、数え年一〇〇歳以上の長寿者は、県下で二二人、橋本さんは六十九番目に位置されます。益々お元気で又

来年も不動の東の横綱として頑張って頂きたいものです。
七十歳以上の方が、五一八人の内、米寿を迎えられた方が六十二人あります。約十二%に当たります。
番付表の皆さんは、明治、大正、昭和と移りゆく歴史のなかで喜びも悲しみもかみしめ、家族、社会のためにつくし、星霜

をかさねてこられました。このお年寄りの皆さんを敬愛し、今後益々の長寿をお祝いしたいと思えます。
※番付の年齢は、昭和六十四年一月一日現在の歳です。
生まれた日が来たら、この表の年齢に一歳を加えて、満〇歳となります。



議会議長 大田 恒
 行司 老連会長 谷本 恒雄
 助 役 富永 知孝
 民協総務 宮田 義盛
 収入 役 永田 利幸
 町民課長 宮田 章
 町 長 大野 和
 社協会長 福田 保

埼玉県の寄居町に百姓の学校「皆農塾」があり、都会の大勢の若者が農作業に汗をながしています。昨年十二月九日、役場での農業研修会で、ここの塾長坂根修氏に「私の実践」と題して講話をしていただきました。
 以下はその要旨です。

農業にこそ 健全な生き方がある

皆農塾長 坂根 修氏が講話



坂根塾長(役場会議室で)

講話要旨

ゼロからの出発

私は埼玉県の寄居町というところで、養鶏と野菜づくりと農業者を育成する研修制度の三本立を柱に、農

場(皆農塾)を経営している。ここは、秩父山脈と関東平野の接点で養蚕地帯だが、蚕が不振ということと、都心まで約一時間の通勤距離内にあって若い人は勤めに出るため、農地が荒れている。これに憂いは感じるが、都会の者が初めて農業をやるとういう場合、農村と文明の接点はやりやすい。

皆農塾は研修生も農業に従事し共同体に近い形でやっているが、これの根本は、ブラジルで十年間共同経営の体験が尾を引いている。三十才のときにここに入ってゼロからスタートした。農地もなし、労働力も自分のみ、資本も七十万円だけだった。このうち四十万円は、古いプレハブ住宅の購入にあて、営業資金は三十万円しか残らなかった。電気も水道もない状態がしばらく続いた。二十才のとき大学を中退してブラ

ジルへ渡り、ゼロから始めたが、養鶏も一年間は収入がないので三十一才になっても一度ゼロから出発した。

ニワトリを飼う

なぜ鶏を考えたかというところ、一つのヒントは有吉佐和子さんの「複合汚染」という本だった。

有吉さんが、田舎で放し飼いをしている鶏の卵を買ってきて、隣のご隠居さんに食べさせると「これこそ本当の卵だ、いま出回っているのは卵じゃない」と感激された、という話が出てくる。

お金も、農地も、労働力もない形で何かを始めようというときには、資金も人手も小規模でできるニワトリはピッタリだった。

この小説に出てくる卵をほんとうにおいしいと思っている都会の人間は沢山いるから、あるいは少なくとも自分一人が食べていけるだけのそういう人間がいるんだったら、こういう卵を生産して高く売り収入をあげよう、そうしないと農民でない私が生きてゆく方法はないと思った。

全く知らない土地へ行ってみるわけだから、なかなか土地を貸してくれる人もなかったが、不動産屋をおしてやると一反の土地を借りることができた。ここへ鶏小屋を建てたが、材料のトタンや柱はクズ屋から廃材を買ってきたのを使い、買ったのは金あみだけだった。薬剤を使わずにおいしい卵をつくり、それを何倍もの値段で売って生

計を立てるといふことは、養鶏界では難しいことだ。ニワトリの病気を調べていくと、ほとんどは気管支系の病気で、これは新鮮な空気を人間が阻害しているためにおきる。小屋の構造はハメ板をなくして、風通しを良くし、換気を充分にとり病気を防ごうと考えた。次には沢山詰めたまなひこととし、坪当たり十羽とした。周りを全部金網で囲っても、鶏が沢山入っていると必ず空気は濁ってくる。

平飼いで、もう一つこわいのはコクシジウムという寄生虫病。これがつくると血便がひどくなりどんどんヒナは死んでゆく。この病気を調べてみると、生後一ヶ月から二ヶ月までに寄生虫がつきやすい。この時期を地面から放してケージ飼いにして難問の病気を防ぐこととした。

平飼い小屋が出来たらヒヨコ屋から入れるわけだが、鶏舎を見て、ここに入れたらヒナがすぐ死んでしまう、後で弁償しろといわれたらがなわぬので売りたいと言った。たとえ全滅したって文句をいわぬし、金も払うからと言って購入した。常識では考えられない形の飼いで第一歩をふみだした。近所でもケージ飼いの養鶏家が沢山いたが笑い話のタネみたいなものだった。まず一つは病気がでる。次にはこんな飼いをしても高く売れるわけがない。安く売ることが、いかによく売れるかというのが市場だからと言って、多くの養鶏家はみんな冷笑した。ヒヨコが六ヶ月で産卵するわけだ

がなかなか産まなかった。ガンで入院していた父は、あいつのニワトリは本当に卵を産むのかと心配しっぱなしで死んでいったが、葬式のととき、女房から「卵を産んだわよ」と電話があった。全く未知の世界のことをやったので、第一目の卵を産んだときの感激はいまだに忘れられない。次は売るのが問題で初めはほんとうに苦労した。今でこそ充分広まったが、その頃、地面で飼う有精卵の価値判断はまったくなく、多くの人からこんなものが売れるわけがない。売れば詐欺師だと言われた。エサやりも野菜の世話も相棒としていた。この卵は、ニワトリを地面で飼って薬剤も使っていない、とてもおいしいですから食べてみて下さい」と書いた能書きで説明しながら、子どもとは別々に歩いた。自分は全然売れなかったが、子どもはどんどん売った。俺は商才がないが子どもは商才があるのだろうか、教わろうと思っ

て子どもその後で聞いてみた。主婦は子どもの能書き説明は全然聞いていない。「坊や何年生」「二年生」「かわいそうね、買うわ買うわ」となんのことはない同情で買ってくれていた。

生活はこれだけではやってゆけないのでチリ紙交換の仕事もやりながら生計を支えた。回りながら「これは本業ではない、ニワトリを平飼いで、とてもおいしい卵ですがどうですか」とお客さんを広めていった。

いま考えると皆農塾の基礎もそうだ。一度買った客はおいしいことが分かるから二度と離れない。その一人ずつの客が自分の大きな財産となった。農民にとって土地や機械が財産だと言われるが、自分の生産物を買ってくれる客がついていることは、かけがえのない貴重な財産があるとそのときつくづく思った。いまだにその客が皆農塾へ卵を買いに来てくれる。卵を買う客は野菜もトリ肉も買ってくれ、漬物も味噌も買ってくれる。うちみたいにいるんなものをつくる農業にとって、その客は財産以外の何ものでもない。

大口購入者には売らない

そのうち、卵はだんだん売れだした。でもこのとき自分は考えた。卵をほしい人がどんどん買ってくるからといって、全部売ってはまずいと思った。買いに来たからすぐ売るのは、それだけ商品価値を下げることになる。この頃、産卵はふえていたから、卵は沢山あった。「二十個下さい」と言われたら、「この卵は有精卵で希少価値が高いのです。すみませんが十個にしてください」と、ほんとうは三十個売りたいのをじつとがまんした。さらに、買う人に、どれだけ手づくりでやっているか見学に来てほしい。見学してほんとにわかってもらえないと売りにくくないと、条件をつけた。二十個と言った客は十個にしてくれといわれ、見学しないと売ってくれないというので、なんぎだなあと思うであろが、

それだけ自信のある卵だろうと見学に来るようになる。いまはニセモノ横行の時代だが、見学に行くのとトリは地面におり、やっぱりごまかしではなかったことを自分の眼で見確かめる。しかも食べるとおいしいから客は固定する。

客がふえると横に広がり、二百個、中には二千個も買うグループができ、初めは喜んでいった。しかし二千個のグループはやめていった。なぜかというところ、こういうグループは力をつけてきて、将来は五千個、あるいは団地全部で買うからと必ず値下げの問題が起きてくる。ほかは百個、二百個だのうちに毎週五千個も買っているのだから労賃も安く上がるし他よりも三円や五円まけてくれてもいいじゃないかと、言わなくても鼻にかけているなということが、感覚で分かってくる。だから二百個の所は残して購入数がふえてきた大きなグループは切ってゆく。資本主義の世の中では、大量に買う側が生産者の方へ何らかの圧力をかけてくる。

うちの卵は一個四十円だが、近くで平飼い養鶏家の卵は一個三十円前後。坂根でなくタカネだといわれている。生協、セゾングループ、問屋が買うのは三十円前後だ。大口消費者はほとんど切り捨ててこちら主導型で売る。年末には客の方からお歳暮が届くほどだ。

皆農塾はいま千二百羽位いる。この規模で充分利益があるなら生産量を一万個二万個とふやすより値段を上げて客の方を減らしたい。

近くに一束五十円ほどで、野菜の無人直売をしている農家があるが四人に売らぬと二百円にはならない。自分なら一束二百円にして一人だけに買ってもらって利益をもとめる。今は安く売って消費者に喜ばれるよりも、高く売って喜ばれることを考えないと自滅する。

平飼い鶏の卵は評判がよくて客がへらない。消費者がスーパーのより地面で飼っている卵の方がおいしいとはっきり認めている。沢山詰めこんだ状態でトリを飼うとストレスがたまつて卵の質にもすぐ出てくる。密飼いの卵はまずい。ケージ飼いの八割から九割と沢山産ます卵も品質がさがつてうまくない。少ない飼いのほうは卵はおいしい。

地面で飼えば効率がわるい。うす飼いにして産卵率をおとすともっと効率がわるい。当然儲からないが、その分はちゃっかり値段で元をとることだ。

うちの鶏は金と銀の卵を産むニワトリだと言っている。金は一個四十円の卵であり、銀の卵は鶏糞である。どこの養鶏場も鶏糞が余って困っている。燃やすと悪臭公害だと騒がれる。うちの場合は平飼いによって価値が上がり貴重品となる。なるべく売りたいが、家庭菜園の人たちから欲しいといわれれば、飼料袋一つ五百円で売っている。砂のようにサラサラして全然匂わず化成肥料のように扱いやすい。

めったにお歳暮はおくらないが日経新聞の岸屋という論説委員へのお

歳暮にこの鶏糞を贈ったらいへん喜ばれた。菜園にタネをまき、土をかけるにこのケイフンをかけるとちゃんと芽が出る。ケージ飼いのだと焼けて絶対に芽は出ない。平飼い鶏舎内でよく微生物分解がされているからだ。四十円の卵がいま、一日五百個ほど産卵するから、一か月六十万円の粗収入がある。エサ代は約十二万円。他の養鶏家は六十万円の売り上げにエサ代を五十万円、六十万円近くかけている。エサの主成分トウモロコシは四五％程度に押さえ、荒ヌカやノコクズを配合している。産卵しなくなった廃鶏が一か月七十羽程出る。一般の養鶏家はこれが一羽五十円程度だが、うちのは一羽千三百円で売る。地面で一生涯運動しているからおいしい。またプロイラーのようにホルモン剤で太らしていないから安心だというようなキャッチフレーズで宣伝する。だから卵でも、ケイフンでもトリ肉でも儲ける形をとっている。他でも儲けようと考えると設備投資にかかるので、ケイフンの中で一つ一つお金をした方が利益が上がる。

羽数は少ないほどよい

いま平地の農業は、いかに儲けるかが課題になっているが、農業で儲けるという事は、だんだんと農業の喜びをなくすことだ。儲けることから脱皮しないと、ほんとうの農業の喜びはない。

平飼い養鶏で採算ベースにのせている自分が、関東地方でわずかに十二

年の歴史なのに一番古いと言われる。需要を呼び、飼ってみたいから教えてくれという農家がふえてきた。病気のことを説明し、うす飼いにしろ、はめ板をなくしろと色々教えるわけだが地価の上がったこの地帯では、欲に走るのか、坪に十羽どころか百も百五十も詰めてしまう。販売も僕の紹介する問屋へ卸して、儲かる儲かると喜んでいった。ある日、その養鶏場から「トリがバタバタして弱るのだが」と電話がかかった。教えた立場上行って確かめた。五割は死んでいたのにニワトリ病で恐ろしいニューカッスルであろう、あるいは麻痺がなかったもので違うかも知れぬと思った。家畜保健衛生所から職員が来て一週間かけ形態を調べたら、やはり法定伝染病のニューカッスルとわかり、残りのトリも全部処分となった。アジア型は内蔵にるので麻痺しないという説明だった。隣の養鶏場も五割は死に、残りは保健所が全部焼却した。その隣の養鶏場も同様となった。

保健所の職員が次は坂根のニワトリだという。空気伝染でも三キロは広がるのに、坂根は病鶏にさわったから、一羽死んだら全滅だという。朝、トリのエサヤリがこわくてこわくてどうしようもなかった。恐る恐る鶏小屋へ行き、死んでないかと思わした。ああよかったとエサをやった。次の日も、次の日もこわかったが、一か月過ぎて一羽も死ななかつた。保健所の職員が来て、一ヶ月過ぎては発病しなかつたら大丈夫だと

いったときは嬉しかった。病鶏にさわったら伝染するのは当然なのに、わからないわからないと不思議がった。そのとき、こういう飼いやつをしてきたからだと威張ればよかったがなぜかできなかった。ニワトリのこわさが身にしみただけで、飼養羽数をどんどん減らすこととした。

この出来ごとで一つの発見をした。ニューカッスルで五割は死んだが、残り病菌のまん延を恐れた保健所が処分した。本にも死亡率は五割と書いてある。どういう状態の生き残ったか興味をもった。意外だったのは、若くて丈夫な鶏が生きて残り年寄り死ぬと考えるのが常識だが、事実逆だった。恐ろしい病気で生き残ったのは若いのでなく年寄りだった。若いトリはじゃんじゃん卵を産み体が弱る。年寄りは二日に一個位しかうまないで無理していない。ニューカッスル病に打ち勝つ方法は卵を少ししか産ませないことだとそう思った。皆農塾の鶏は産卵率を落とすようにたえず注意している。七〇%を越えたらすぐにエサをかえて五〇〜七〇%を保つ。

薬を使えばこの病気が防げ、八割の産卵もでき、儲けようと思えば儲かるがそうはしない。

社会活動を開始

四十才になったときニワトリだけでなく飛躍して対外的な活動をしていこうと考えた。「自然食通信」に「野菜を売るのほもうやめた」という文を投稿したら非常に好評を得た。

内容は、「消費者はすごい。自分たちはこれだけ生産者に徹し安全な物を生産しているのに金だけの取り引きでごまかしている。もっと真心で農産物を買気持ちはなければ、野菜を売るのほもうやめた」というものだった。消費者にも自分たちは安易だったのではないかと反省を与えたようだ。三年前、「ほどほどに食べていける百姓入門」という本を書いたらよく売れて一万部を超え農村の人々にもだいたい読んでもらった。

自分も都会を脱出して農村で生活したい。しかしその知識も何もないから皆農塾でしばらく居候させてほしいと、この本を読んで集まってくるひとがたいへん多くなった。あまり人が来るのでこの建物は皆農塾として開放し、六キロ離れたところに家を建てて通っている。

今年皆農塾の前身みたいな「ブラジル物語」という本を出した。やがて新聞、テレビで皆農塾が紹介されて有名となり、都市生活者がいまもって後を断たない。

いま都会ではある意味で百姓ブームである。都市文明の歪み、自分たちは都会から自然の豊かな農村に入って生活したい。そういう思いが非常に強くなっている。だからこんな本が読まれる。

田舎をもつ人はあまり思わないが、親も自分も都会に育った人々はルーツが全くない。だから皆農塾へ来て畑作業をしようと思っている。

そのような中で根本に考えていることの一つは儲けすぎないこと。儲

けようと思うときさっきの話のように全部台なしとなることはつきり見えていた。

次は働き過ぎないこと。働き過ぎると何も考えなくなる。また極貧にあえいでは何にもならないので貧乏しすぎないということ。こういうことを標榜している。

そしてもう一つは、皆農塾にも掲げているが「明るくなければ百姓ではない」ということだ。農業はとかく暗くなりがちで、とくに一人て百姓しているとそうだ。

無農薬野菜をつくる

ニワトリ病のこわさを身にしみただけで、鶏を縮小することし無農薬野菜を始めた。

無農薬野菜の栽培方法はいろいろあると思うが一つは種を播く時期の問題があると思う。例えば白菜だと適期からずらして播種すれば虫はつきにくいがる。巻かない。結球する適期だとポットに種をまいて寒冷紗をかけて一か月位育てる。虫がつかなくなつた頃に畑に定植する。このうすれば葉は使わなくてすむ。このような手間をかけても高く売ればよいわけで、やる前はこんな面倒なことをと思うが、やってみるとさほどでもない。

次の方法は一つの作物を沢山つくらないことだ。キャベツばかり一反も二反歩もやって虫に全部やられたら何も残らない。マメ、トウモロコシ、キャベツと畑を分けて植える。と虫の標的をさげ、虫がつきにくい。

面倒くさいことがいっぱいあるわけだから、売るときも大根だけとか人参だけとかは売らず工夫する。

一つだけでは困る。全部買ってくれと野菜を寄せ集めて一箱千七百円で売る。宅配の客には送料千円を加える。

次の方法は品種の問題である。トウモロコシを作る場合、ハニーバンタムだと上が柔らかいので黒斑病が付きやすい。アメリカスイートコーンだと上がきっちりするので入りにくいから無農薬野菜に向く。

夏の葉野菜コマツナやホウレン草などで無農薬でつくるのは難しい。しかし中国野菜のエンサイとか日本産でもフダン草だったら虫に強い。うちの野菜でムロヘイヤだと虫が食わない。夏でも虫が食わない野菜をピックアップして夏はこの葉野菜を食べてくれといえればよい。

「無農薬野菜のつくり方」という本を参考にして皆農塾でつくってみると必ず虫にやられる。三月には何が出来る。四月には、五月にはと月別の野菜の本でない無農薬でつくる場合、適切な時期がわからない。皆農塾では新しい野菜を多く作付けている。売るときは、コンテナに大根、人参、ネギ、サトイモ、ジャガイモ、カブなど十種類ほどを集めて売る。

また、消費者は浮気しやすいから客が離れないよう気を使う。ポップコーン用の小さいトウモロコシを入れておくと、母親はフライパンでそれをつくると、子どもからは魔法使

だと尊敬をうけ親も満足感をうる。秋には稲穂を三本位入れておく子どもも理科の勉強になる。メキャベツも店頭のは外してあるが木ごと入ると珍しがられる。十五夜頃にはスキも届けると、客は秋の感傷にひたる事ができる。柿も葉のついた枝ごと入れる。このような工夫をしたい。

実際のところ無農薬野菜をつくることはそんなにむずかしい。買う方がほんとうはむずかしい。信念が要求される。消費者に本当にわかれない。「わたしたちは無農薬野菜をつくることはそんなにむずかしいことではない。百姓を楽しんでやっているのだから、農薬を使わない農業は挑戦だ。挑戦だから非常に楽しい。食べるお客さんはいへんでしょね。なにしろこちらはお手伝いだが、信念がないと無農薬野菜は食べられませぬ」とアピールしている。そのことによって消費者も「あ、そうだ。私は信念がないからやめたんだ。とまた思い直して継続しよう」ということになる。消費者の感覚をくすぐりながら意識を高め、そして自分たちの生計が維持できるように持ってゆかぬと、ただ、押しつけただけでは物は売れない。今は肉食の時代で野菜は敬遠気味だから、おいしいとかまずいとかいろいろある。新鮮さがあり、なお農村の風物詩も入っている姿が要求される。

料理メモを入れるが、誰が食べてもおいしいと一辺倒には書かない。

Aは、全くまずくて食べないと言ったがBはおいしいと言った。というように客観的な説明をつける。

毎週、千七百円の野菜箱詰を買ってくれる世帯が百二十軒位ある。鶏は千二百羽ほどおり、卵の客が四百人ほどある。

出荷は問屋にも農協にも生協にもしない。全部一対一の取り引き。個人対個人で売っている以上は他からは侵入できない。

無農菜野菜は需要が強い。消費者から無農菜野菜は、販路拡大、市場開拓の便宜だけで栽培しているのであって、本当はそんなに安全性に神経を使っていないのではないかと質問をされる。私は農菜が害だ害だとは言わない。ある眼科医が「現代農業」という雑誌に投稿していた。農業で眼の中毒をうけた人がよく来るが、低農菜患者は困る。だんだん蓄積してから病状が表れるので、来たときは手遅れになることが多い。普通の農菜使用者で来る人は急性だから手当ての方法がある。

今の風潮としては、農菜野菜は困るが低農菜野菜はいいと思う人が多い。無農菜の方がよいと思っても、まあ低農菜ならがまんしよう、値段も安いからとなる。これでは、無農菜の立場はなくなる。必ず眼科医の論理を話すこととしている。

アメリカで新しい農菜の開発があるとブラジルで実験的に使うことがある。ドーエツチパーモンドという農菜中毒病を沢山見てきた。これにかかると、まず眼がやられ、次に氣

力がなくなり、全く働く意欲も何をする気もなくなくなってしまふという病氣だ。

消費者には、なぜ農菜を使わないかを次のように説明する。「消費者は農菜を使ったものをほんの一部だけ口に入れるが自分たちは農菜を散布するわけだから、その何倍も被害を受ける。消費者のためではなく自分自身のために使わないのだ。だから消費者のために無農菜野菜を作ろうとは思わない」

儲け過ぎてはいけない

収入は二十万円位をオンの字だと思つて、それで生活ができなかったら暮らし方がわるいと考えるべきだ。百万も二百万も儲けたいのなら百姓ではなく不動産屋をやった方がよい。儲け過ぎたら健全には生きてゆけない。あと内容的なもので豊かになつてゆくようにしないと、どこかで落とし穴に落ちる。都会の人間は沢山稼いでいるかも知れないが、やっぱり大きな落とし穴に落ち、精神的にも腐っている。健全な精神を養つてゆくに自分は、儲け過ぎようとは思わない。

後退の思想

農業には大農法と小農法がある。大農法はアメリカやブラジルのように輸出主導の外需型の農業であり、小農法はどちらかというと内需型の農業である。いま日本は、アメリカの農業を真似することで課題の打開を図ろうとしているが、アメリカの

農業も崩壊を示している。大型農業は簡単である。大豆、小豆などそれほど作りをつくる。

小農法は、野菜・果物・コキビなどをつくつて動物を飼ひ、その糞を利用してまた野菜をつくるという循環総合複合農業である。手間がかかるとに金ははうんと少なくてすむ。機械化もあまり進めず、肥料も自給の堆きゅう肥を使う。日本の農業は小農法であるべきと思う。なぜなら、小農と大農とでは競争にならない。日本の区画整理は一枚が三反とか北海道でも一町歩位。アメリカ、ブラジルは百町歩が一枚となっている。

日本は大農法を模倣しようとして一生命やってくるだんだん減んできた。大農法と小農法の中間のヨーロッパの農業の方を真似した方がよいのではないか。フランスのブドウ酒の銘柄は、ブドウ農家の数と同じ位あるといわれる。自園のブドウは自家ブドウ酒にして販売している。日本の農業はこれからだんだん混迷してゆくと思う。

日本が工業立国として工業主体でやっていく以上、大農法はできない。大農法を真似て農産物の国際競争力をつけたとしても、工業製品も農産物も輸出すれば国際収支のバランスは失われ貿易は険悪化する。農業は輸出産業とせず、国内だけで自給的にやるべきと思う。

バイオテクノロジーによる品種改良の農業技術革新も問題がある。例えば乳量増大の乳牛が開発されても、生産過剰がおきて価格が下がり、出

荷調整となる。米も収量がふえる品種が改良されたら、減反となる。ニワトリもブタも同様だ。食糧不足の時代になら技術革新による生産性向上は必要だが、今は無用だ。自分だけやれば儲かるが、そうはいかない。

文明が進むことによって工業はどんどん発達していくが、農村と都市との格差は広がってくる。文明はよいこともあったが、フロンガスによる成層圏のオゾン破壊、排気ガス公害、大気汚染など文明の罪も大きい。石油・石炭・木材など枯渇の問題も生じてくる。

人間は本当に英知があるとすれば、これ以上文明の進歩を望むべきではない。むしろ、これからは時代を遡つて後退することが人間の英知だと思ふ。

「私は後退の思想」と言っているがこれからは、いかに後退してゆくかということを試されているのではないか。文明の進歩する状態が正しいとすれば、農業はその足を引っぱればよい。農業は工業立国にとって手足まといだという人もあるが、地球が汚染されてもよいのであればそうであろうが、後退が地球の健康だと考えるなら文明の進歩は困るわけだ。

これから十年前、二十年前への後戻りが試されているのなら農業が一番希少価値がある。自分がこれだけ農業に誇りが持てるというのは、文明批判が強く、文明の罪が非常に大きいと思つているからだ。

農業がどんなに儲からなくても効率がわるくても、食べ物を作つてい

る農業は一番将来性がある。かつ文明批判ができるのなら地球規模で考えて農業ほど立派な職業はない。

儲けよう儲けようと思えば、文明に迎合し都市にも工業にも迎合して生きてゆかなければならない。そこで文明に迎合せず、農業に独立性をつかむことによって、農民は、生きられる。文明を批判し、文明は間違いだぞ、もう後戻りしなくてはいけないのだと根本理念がなければならぬ。

いま、都会の生活者がほとんど皆農塾へ来て農業を志すということは、都会の生活そのものが非常に不健全になつてきていることだろう。人間の健全な精神を養うためには、やっぱり健全な農業でなければ社会は健全になりえないということが、はっきりしていると思う。だから根本を変えらるることによって、農業に誇りをもつという形のを自己の中につくりあげ、そこから第一歩を踏み出すべきだ。

坂根 修氏 (さかね・おさむ)

一九六二年都立農芸高校卒業。東京農業大学在学中に南米ブラジルに渡る。十年後に帰国、二年ほどサラリーマン生活のあと、現在の地で皆農塾を開く。

一九四四年東京生まれ

災害復旧費など 一億七千九百万円を補正

十二月定例議会

十二月定例議会は、十二月二十二日から三日間の会期で開かれ、町長行政報告二十二件が行われたほか、七議案について審議され、全議案とも原案どおり可決されました。
今回議決された議案のうち主なものは一般会計補正予算で、災害復旧費一億一千三百万円です。
なお、一般質問は四人の議員から十項目にわたって行われました。

一般質問

◎ 肱川町の農林業について

企業誘致がむずかしい肱川町にとって、人口減少の中きびしい農林業を足腰の強い農業に育てる上においては、農林業予算を増やし、後継農家の育成をはかり農林業不振を切りぬけてゆかなくてはいけないと思うが、町長のお考えをお伺いしたい。

〔町長〕 肱川町の農林業は二指摘のとおり非常に厳しくなっており、例年主要な産物の生産状況は三月議会に取りまとめ報告をいたしておりますが、現時点におきまして、対前年比八五・六％位、十億を切るような状況になるのではないかと推定いたしております。

先日またはこの記事が新聞に載っておりますが、大洲市・

喜多郡で百七十六人の廃作があるというところでありますし、農林業の厳しさにつきましてはお互いが身をもって感じているところであります。

そういう状況の中で、今後の町の生活をどういうふうにしてゆかかということも最も大きな課題であります。私も非常に心配をしております。

一意見の予算を増やして足腰の強い農業に育て上げよということでありますが、予算を増やすというより、何をどうすべきか、やる気があるのかないのかというのが一番根本になるのであります。生産意欲がどうなってきたのかということも心配なのであります。そういうことで風おこし運動も始めている訳であります。

この風おこし運動は、やる気よへの運動でございます。

又それを具体化をしてゆくものでなければならぬと思っております。

現在六十四年度の風おこしの計画をつくるべく研究をいたしております。議員の皆さんにも案の二提出をお願いしたいと思っております。この運動を掛け声だけに終わらせず、具体的なものに結びつけてゆく運動にしたいと思っております。

予算化は皆さんの二協力・ご努力によって、それぞれの目的が果せるよう取り組みをしてゆかなければならないと思っております。

◎ 桂が丘公園墓地について

同じ姿で眠る万霊平等の考え又特定の宗派を問わない公園墓地として、昭和五十六年九月三十日、六十三区画が造成された墓地も七年の歳月が流れた今は十七区画が残っているが使用者の見通しはあるのか、又ない場合使用制限を緩和するなどして使用者を募集される考えはないか町長にお伺いしたい。

〔町長〕 五十六年に皆さんのご要望にこたえて造成をして運営をして参りました。現在十七区画が残っております。今後の使用についての見通しは立っておりませんが、これが零になってしまっても、一人、二人の要望で又新たに作るという訳に参りませんので、町民の財産として保有をいたしております。要望の対応に当たりたいと思っております。

周辺には、ご寄附いただいた土地や、又町が購入した土地も若干ある訳でありますから、従来どおり公園墓地ということで整備をして参りたいと考えております。

者は季節によって非常に減少することも考えられ、運営がむずかしいのではないかと思われるが、周辺の新たな開発計画はあるのかお伺いしたい。

〔町長〕 今まで、まずまずの利用をいただいておりますが、季節によって減少することは当然予想されているところであります。四季を通じて利用できる施設にしたいとは常々考えておりまして今後の課題であります。

さし当って鹿鳴園の施設につきましては、九月、十一月の補正で広場の改良工事・鹿園の拡張工事・園内放送施設などと合わせて五百万の工事を実施することとし、今回三百四十万円の補正をいたすこととしております。

周辺の新たな開発計画としては、町有地の埋立てを進めておりますので、今後どんどん進めて参りたいと思っております。現在計画を練っているところでもあります。

◎ 他町村にみるむらおこしについて

長野県平谷村のイベントについては、先日テレビで放映され又週刊誌にも掲載されたところであるが肱川町の町づくりについて町長のお考えをお伺いしたい。

人口五百九十八人の小さな村の代表二百人が先般「人間地上絵グランプリ」という人文字の



桂が丘公園墓地

◎ 鹿鳴園について

鹿鳴園の利用



町議会で答弁する大野町長 (12月22日)

美しさを競うテレビ番組に出場し見事に優勝、百万円を獲得した。これを村民全員に分配しても一人当たり僅か千六百元にしかならなので百万円全部宝くじを買い九千万円が当れば、それを資金に村に城を建設し、観光名所にしようと村全体が興奮しているという。

このような意気込みが全国へのPRにもなった訳であるが住民こそっての「参加」ということについて考えさせられ、大いに参考になる例と思う。
今後の町づくりについて町長

の感想をお聞きしたい。
【町長】素晴らしいという感想を持ちますが最近、日本一とか四国一とか、大きなものとか、意外性とか、気を衝く手法などいろいろのことが行われます。

しかし考えてみますのに、日本一はあしたにでも敗れるのでありますし、又一過性のものでは効を成しませんし、類似的なものは次々出て来ます。

よいことはすべていただきますという世の中でございますがそういうことだけで長つづきすることは思えません。

勿論そういう要素が必要ではあります。が、大切なのは今すぐにも自分でやれることがある筈でありますから、そのことに取り組むことが必要と思っております。

いわれますように住民こそっての参加ということが大事であります。そこ、そこ、そこ、ここに住民みんなの盛り上がりがあるということとは原点であります。

風おこしのことも自分が先頭に立ってやるという心がまえで取り組んでもらいたいと思えます。

◎公共施設の適正な管理について

県立自然公園内にあるトイレを見ると、戸が閉まらないのがあり、又汚れていて非衛生的である。掃除はされている様子であるが、何日おきぐらいに掃除をされているのか状況をお聞きしたい。

最近一部の観光地のトイレは裏側にかくれず、モダンなデザインで堂々と表に出てくるようにもなっている。修理をしてもあまりよくならないのであれば新しくするなど考えられてはどうか。

【町長】従来、肱川町のトイレは他の町村に比べ遜色が無い施設であり、その管理については公園管理人へ委託しての清掃でやってきております。

しかし老朽化したものもありますので、今年度二ヶ所新築をいたす予定にしております。四百九十万円を計上いたしているところであります。

◎交通安全対策について

交通安全関係三点についてお伺いしたい。
まず、肱川町交通安全推進協議会長でもある町長にお尋ねしたいが、まず毎日のように報道される交通事故の多発は痛ましいものがあり、この度県民総ぐるみ運動県本部では「交通事故

多発緊急事態」を宣言している。当町においては、どのような姿勢で事故対策に臨んでおられるのかその活動内容等についてお伺いしたい。

【町長】交通安全はみんなの願いでありますし、交通事故はわれわれ日常生活の中で最も危険頻度の重い状況になってきております。事故防止をしてゆくにめには、環境整備をいたしまして、安全施設を充実し、安全教育、安全運動を推進してゆく必要があります。そのどれをとりましても行政は重要な役目を果たしてゆかなくてはならないと思っております。

ありますが、町としては周知啓発としまして広報・放送あるいは部落長会を通じて住民の方々に投げかけをいたしているところであります。

又安全指導の面では、指導員、安全協会の皆さん、教職員の皆さん、PTAの皆さん、いろいろの方々のご協力をいただいております。

もって取り組んでゆく問題だと思えます。

◎町道、県道の管理(通報)体制について

次に、舗装されている町道や県道において、路面に穴があいたり、著しく破損したまま放置されている箇所があるが、これ

らは車の通行上の見地から非常に危険であり、速やかに補修すべきだと思うが、町道の管理体制、又県への通報体制はどのようになされているのかお伺いしたい。

【町長】県道につきましては、県との連携を密にいたしましてやっております。

町道につきましては、道路整備員、部落長、管理責任者の皆さんとの連絡体制の中で対応をいたしております。

補修すべき箇所が放置されているという点につきまして、鉄板などを長く敷いているところは災害査定待ちのところであろうと思えます。

道路も生きものであります。病気をしたり、怪我をしたりすることはあります。早く健康にしてやりたいとは思いますが、即対応というわけにもゆかないこともあります。ご不便をかけることもあろうと思えます。今後共、回復・整備促進には努力をして参ります。

◎交通信号機の設置について

最後に滝山及び鳥首(道野尾橋畔)両箇所に、交通信号機を設置する件については、数年前より安全協会や町P連で検討中であったが、付近の道路状態がよくなった現在では地元の要望も更に強くなってきているので本格的に考えられてはどうかお

伺いたい。
 「町長」他町村との交通状況と比較しまして緊急度が重い状況



にはないと思われるのと、滝山につきましては、通学児の横断との配慮も必要と思いますが今直ちに信号機を設置を要望するという考えではありません。
 しかし、いつも問題になる地点ではありますので、今後共よく検討をいたしますし、経過をみながら対応してゆきたいと思っております。
 信号機は一方で交通を渋滞させるという面もありますので、そのことも配慮してゆきたいと考えます。

◎**脇川町奨学資金貸与制度の創設について**
 高校、大学就学生をもつ家庭での家計費に占める教育費は年々増える傾向にあり、一方農家経済の低迷等により教育費の捻出に苦慮している家庭が多いのが現状である。
 今、利用できる奨学資金として日本育英会奨学生生資金、愛媛県奨学生資金があるが、これらは人数、金額に制約があるので昭和五十三年に条例化された脇川町教育振興基金を活用する等町独自の奨学資金貸与の条例化をされてはどうか町長の考えを

お伺いしたい。
 「町長」「意見同感でありまして、町としましても教育基金は他の二基金と共に非常に大切と考え、条例化いたしておりますが現在のところ基金も充分な額に達しておりませんので今後充実してゆかなければなりません。三月の議会には、この運営内容について、ご提案を申し上げる予定にいたしておりますので、原案を作成中でありますので、ご意見をおききたいと思っております。」
 ◎**職員の研修制度について**
 今「まちづくりは人づくり」

だと言われ、又「自分づくり」であるとも言われている。
 過疎化、高齢化、農産物の輸入自由化や食生活の多様化、個性化などから農家の経済は低迷の度を深め、地域経済の全体的落ち込みを余儀なくされている時期に町民の行政に対する期待は大きく、その使命役割を果たすための職員の幅広い学習と自己研鑽が必要であると考える。
 このため職員研修費を予算化され、愛媛県町村会による研修愛媛県自治研修所・中央研修所での専門職研修・自治大学校第二部研修(ニヶ月)等への参加研修を計られてはどうか、町長の考えをお伺いしたい。
 「町長」「意見のとおりでありまして、職場のあり方に対しまして考え方も適切なご助言を賜り感謝いたしております。
 職員はまず町民の先頭に立つということには常に申しているところであります。
 町づくりは人づくりということとは広くいわれているところであり異論はありません。
 長い目で見れば、今日のような状況は、町づくりは生き残りのだという気持ちで私はおるのであります。生き残りのために全力を出し、努力してゆかなければならないと思えますし、職員の研修につきましても、毎年新規採用職員に町村会の研修、あるいは係長研修に参加させたり、

また一般職員の一ヶ月間の研修にも毎年参加をさせております。
 中央研修では、本年は地域活性化セミナーに八日間参加させております。
 又、一般先進地視察につきましては本年百四十五人が参加しておりますので、予算書上ではお分かりにくいと思いますが、それぞれ実施をいたしているであります。
 さまざまな各地のイベントなどにも出席をいたして、外側から脇川町をのびることも行っております。
 要は、職員が自覚をしてそれぞれ取り組みをしてゆくということでもあります。机の上だけでなく日常に仕事を通じて自己を鍛えてゆくということが大切と思っております。
 今後何かとご指導をいただき、資質の向上を図りたいと思っております。

議案の審議

- ◎**喜多郡内陸部土地開発公社定款の一部改正について**
 町が加入している内陸部土地開発公社の定款について、業務の範囲を変更するなど一部を改正するための決議をした。
- ◎**職員の給与に関する条例の一部改正について**
 人事院の勧告に基づいて改正される国家公務員の給与と均衡をとるため、町職員の給与改定が行われた。
- ◎**昭和六十三年度脇川町一般会計補正予算(第四号)**
 農林漁業地域改善対策費一千五百万円、鉱泉調査費等七百六十五万円、道路新設改良費一千三百万円、災害復旧費一億一千三百万円などの補正が行われた。
- ◎**昭和六十三年度脇川町国民健康保険特別会計補正予算(第一号)**
 一千百四十三万三千円の補正が行われた。
- ◎**昭和六十三年度脇川町簡易水道特別会計補正予算(第二号)**
 七万三千円の補正が行われた。

◎**脇川町過疎地域振興計画の変更について**
 町の過疎地域振興計画書について、町道・林道二路線の舗装・新設事業を追加した。

◎**脇川町辺地総合整備計画の変更について**
 町の辺地総合整備計画につい

一口医学

かぜの予防



カゼの予防
 いわゆるカゼといつても、ふつうのカゼとインフルエンザがあります。いずれもウイルスが原因ですが、症状が異なります。
カゼの感染経路
 カゼ患者の鼻や口から、くしゃみ・咳とともに、ウイルスを含んだ分泌物が空气中に排出され、それが浮遊しているものを、健康者が吸いこんで感染します。
 カゼのウイルスは、空気中にも一年中カゼのウイルスを吸いこんでいることになりま

す。ただし、発病するには条件が必要で、
カゼ発病の条件
 ひと口に言って抵抗力の低下です。
 ①寒さによる呼吸器粘膜の抵抗

ふつうのかぜとインフルエンザのちがい

| | ふつうのかぜ | インフルエンザ |
|------|---|-------------------------|
| 病原 | ライノウイルス、アデノウイルス、コロナウイルス、エコーウイルス、コクサッキーウイルスなど多数。 | インフルエンザウイルスA、B、C |
| 潜伏期間 | 1～3日 | 1～2日 |
| 発症 | 急性 | 突発的に |
| 初期症状 | 鼻腔・咽喉の乾燥感、クシャミ | 悪寒、頭痛 |
| 主な症状 | 鼻汁、鼻づまり | 高熱、全身痛 |
| 悪寒 | 軽く、短期間 | 高度 |
| 発熱 | 多くは37.5℃以下 | 39℃～40℃が3～5日続く |
| 全身痛 | ほとんどない | 高度 |
| 倦怠感 | ほとんどない | 高度 |
| 鼻道症状 | 初期から著しい | 後期に著しい |
| 咽頭 | やや充血 | 充血、扁桃炎を併発 |
| 結膜 | 充血はない | 充血 |
| 合併症 | ない | 気管支炎、インフルエンザ肺炎、細菌性肺炎、膿胸 |

力の低下
 ②暖房による室内乾燥によるのどの粘膜の抵抗力低下。
 ③無理な発声や声の使いすぎによるのどの粘膜の疲れ。
 ④たばこの吸い過ぎによるのどの荒れ。
 ⑤全身的には、過労・睡眠不足・栄養のアンバランス・湯ざめなどの冷えなどによる抵抗力の低下。
カゼの治療
 カゼ薬：カゼのウイルスに効く特効薬はありません。ふつう使われているのは、カゼでおこるいろいろな症状をおさえ、患者さんの苦痛をやわらげる薬です。



一般療法：なんといっても安静・保温・栄養です。いくら良い薬を飲んでも注射を受けてもこの三つが守れなければふり返し、また回復も長びきます。
カゼの予防
 ○発病している人は、マスクをしてウイルスをまき散らさないようにする。
 ○ウイルスを吸い込まないようマスクをする。
 ○室の空気を喚気してウイルスでよごれた空気をきれいにする。
 ○外出後はうがいをしてのどに



ついたウイルスを吐き出す。
 ○カゼの流行時には人ごみをさける。
 私たちがもっと手つとり早くできる積極的な発病予防は
 ○栄養(バランスのとれた)のある食事に注意すること
 ○休養・睡眠を十分にとり、過労にならないように注意すること。
 ○うがいを励行してのどの粘膜をきれいにし、きたえること。
 ○不摂生(たばこの吸い過ぎ)をしないこと。
 ○湯ざめや、発汗後の冷えをなくし、外出時と屋内にいるときの衣服による保温をきめ細かにすること。
 ○暖房時は適度の湿度を保つよう工夫すること。
 ○胃腸症状(便秘・下痢をなくす)を整え、抵抗力の低下を防ぐこと。
 ○適度の運動などにより、呼吸器管(のど・鼻・気管及び肺)をきたえること。



No. わが家のアト儿 63



お母さん 礼子さん(28歳)

白岩美香ちゃん(中野)
 昭和61年11月7日生れ
 (2歳2か月)



お父さん 優さん(31歳)
 お母さん 雅子さん(29歳)

山内 淳くん(上鹿野川)
 昭和61年12月17日生れ
 (2歳1か月)

こんにちは、初めまして、わたし「美香」と書いて「はるか」とよびまわす。いつも兄タンと遊んでいるので、元気のいい女の子でちゅ。でも愛嬌でカパーでちゅ。チョコレートが大好きでちゅが、むし歯が一本もありまわす。偉いであらう。早く大きくなってママのお手伝いするのだからちゅ。「大らかな、やさしい女の子」に育ってほしいと思います。

ぼくは、山内家の次男「淳」12月で2歳になりました。でも体が大きいので、みんな2歳に見えてくれないんだ。だから、おかあさんは、ぼくを、お相撲かプロレスラーになるんだといつも言っている。ぼくはなりたくないんだけどなあ……
 おにいちゃんと喧嘩をしている毎日です。

農林会館両組合長が年頭のごあいさつ

肱川農業協同組合

組合長理事 銚岩 勉

一九八九年の新春を皆様ご健勝でお迎えの事と存じます。

平素皆様方には農協の事業推進に格別のご協力をいただいております

が特に年末の特別金融推進につきましては、栗を始め農産物が減収と云う悪い環境のなかでありましたが、肱川農協の貯金は

二十七回の農協大会が松山で又

十二月には第十八回の全国農協大会が東京で開催されました。

これは三年に一度開催されるものですが二十一世紀を展望する農協の基本戦略の策定、実践に関する決議、米の市場開放阻止特別決議を採択しました。

内容は低コスト生産や、担手の育成、販売力強化をめざす「農地を活かす人と農業づくり」地域の生活の拠点としての農協生活活動の取り組み強化と地域活性化をめざす「創意と交流にもとづく地域作り」競争力ある事業戦略の確立と活力ある経営の創造をめざす「期待と信頼に込める農協づく

り」この三つの運動を重点に系統農協の総力を挙げて、其の実践を期するものとなっております。

肱川農協に於いても今後この基本路線を基調として、又肱川町の風おこしとふるさと創生を共に推進して地域の活性化と農業の生産の拡大に努力をして参ります。尚金利の自由化の問題をはじめ諸般の情勢は本当に気が抜けないわけですが、皆様方の御協力をいただいで各事業を進めて参りますので何かと宜しくお願いを申し上げます。

肱川町森林組合

組合長理事 河野 美治

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

ご家族おそいでよいお正月をお迎えのことと存じます。

昨年は後半において小丸太材の動きが良く価格も上がりました、間伐材の販売代金より経費支出の残金が、わずかでも払える状況になる等、木

せる好材料になりましたし、国内外のしいたけ需要も伸びつつある現状であり、原木を多く持っている肱川においては今後期待できることが、うかがえる年でもあったと思います。

さて本年も、木材、椎茸とも急激な好不況はないと思いが、木材にあっては、国産材に対する認識が高まりつつありますので良好な動きが期待できると思えます。尚一そう間伐を推進して良質材生産につとめるとともに新しい創造と工夫による山林収益を高めてゆく第一歩の年にしたいと考えています。

椎茸生産については、榎場の整備につとめ、単位当り生産取

農機具

展示即売会

日時 平成元年二月三日と四日
午前九時～午後五時

場所 肱川農協農機具センター

農機具センター横広場

展示機種 トラクターから小物

商品まで各種農機具

軽トラック





優良材生産は直材づくりから!



椎茸生産はクヌギ林造成から!

脇川土場木材相場表 第497回市 昭和63年12月17日
県森運市より (単位才当り:円)

| 長さ | 未口径 | スギ | | ヒノキ | | マツ | その他 |
|-----|----------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------------------------------------|
| | | チョク | マガリ | チョク | マガリ | | |
| 4 m | 7 cm 下 | 本 332 | 本 178 | 本 399 | 本 178 | 18cm上 64 24cm上 78 | 松バルブ 7cm上 長さ1.7~1.9m 25円 |
| | 8~10cm上 | 本 348 | 本 221 | 本 492 | 本 279 | | |
| | 11~12cm上 | 74 | - | 92 | - | | |
| | 13cm上 | 69 | - | 165 | - | | |
| 3 m | 7 cm 下 | 本 191 | 本 124 | 本 211 | 本 124 | 18cm上 64 24cm上 71 | 雑バルブ 7cm上 長さ2m 39円 |
| | 8 cm 上 | 本 235 | 本 212 | 本 244 | 本 219 | | |
| | 11 cm 上 | 39 | - | 46 | - | | |
| | 13cm上(元) | 81 | - | 149 | - | | |
| 2 m | 7 cm 下 | 本 14 | 本 14 | 本 14 | 本 14 | 13cm上 25 30cm上 25 | 松ハリ材 16cm~22cm 3m85円 4m92円 |
| | 8 cm 上 | 20 | - | 45 | - | | |
| | 16 cm 上 | 46 | - | 100 | - | | |
| | 30 cm 上 | 90 | - | 256 | - | | |
| 6 m | 13cm上(元) | 102 | - | 353 | - | | |
| | 13cm上(元) | 133 | - | 275 | - | | |
| 特選 | 13cm上(元) | 249 | - | 860 | - | | |

納め市は、全体に強保相場。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

脇川町森林組合乾椎茸相場表

1. 市売日...昭和63年12月16日
1. 販売数量...46ケース 723.7kg
1. 数量内容及び平均単価

| 区分 | 銘 | 香信 | ドンコ | 特用バレ | コーコ | その他 |
|--------|-------|----|-----|-------|-------|-------|
| 数量(kg) | 257.4 | - | - | 245.0 | 42.4 | 178.9 |
| 比率(%) | 35 | - | - | 34 | 60 | 25 |
| 平均単価 | 3,261 | - | - | 3,380 | 4,821 | 2,856 |

1. 銘柄別価格

| 銘柄 | 柄 | 単価 | 銘柄 | 柄 | 単価 |
|-------|-----|-------|------|---|-------|
| 大 | 厚 | - | ドンコ | 小 | - |
| 中 | 厚上 | - | 特用大葉 | | - |
| 中 | 厚並 | 5,590 | 大バレ | | 3,622 |
| 小 | 厚 | 4,190 | 特用中葉 | | - |
| 大 | ウス | 5,790 | 中バレ | | 3,576 |
| 中 | ウス上 | - | 特用小葉 | | - |
| 中 | ウス並 | 4,045 | 小バレ | | 3,021 |
| 小 | ウス | 3,333 | 変形大 | | - |
| ジャミウス | | 2,055 | 変形小 | | 2,752 |
| ドンコ大 | | - | 色落 | | 2,856 |
| ドンコ中 | | - | コーコ | | - |

「儲かる林業経営」

新年明けましておめでとございます。本年もどうか宜しくお願ひいたします。

うまい儲け話というわけではないのですが、岐阜県の『石原木材㈱』

『日出雲林業』を経営されている石原猛志氏が講師をされた林業経営講座から、ちょっと拝借したお話を書いてみます。

一、自然から学ぶ

本当に山は化物というか、学校や本で習った事には錯覚もあり、自然から教えられる事が血や肉となっていています。

二、コスト低下に努める

生産者は、良い物を安く出す工夫が重要で、このコスト低下には、まず育てる面と運び出す面での見直しが必要で、

三、適度な品種を植える

品種の問題ですが、何といっても通直性が大切です。通直であ

れば、除伐木も売れるかもしれませんし、間伐材は立派な商品になります。何も植林は次代の為の子孫の為に考えず、まず植えた自分が儲けなくては、はずみがつかないかと思ひます。

四、下刈りについて

下刈り作業はコストを下げるかなり大きな比重をもっています。尾根等の風通しのよい所で雑布がけのようにきれいに刈ってしまふとかえってよくない場合もあり、場所によって考えて下刈りすることが大切です。

また、複層林は、下刈りの省力化に大きな効果があります。

五、製造業を見習おう

例えば、ha当り三千本程度植栽したとしますと、収穫を期待できるのは千本程度、残りの二千本をどう考えますか。企業が三千の製品を作って千だけ売ればよいとしたならば、間違いなく倒産でしょう。この二千本をいかに売るので大きな差がでます。この日出雲林業では、ha当り二千~三千万円の収入となっている所もあるようです。

六、林業の特色を発揮しよう

林業には林業の特色があり、また、植え付けや収穫を一齐にする事が当り前のよう考える傾

向も若干見られます。この弊害は、皆伐することにより、地表の肥沃な土壌が流失してしまう事、また、伐採時の商品価値からみて、もう少し早く、あるいは遅く伐採するのが有利であるにもかかわらず、一齐に伐採するという不経済はばかになりません。

七、重要な道路網の整備

林道、作業道の開設には、少しでも安く、山を傷めないように、また、安く維持できるように考えることが重要です。

八、商品育てる心で

私達は、樹木商品育てているのです。絶えずそんな目で見ながら木に接していれば、付加価値を少しでも高めることにつながります。

以上書いてみたことは、林業施業において基本的なことであると思ひます。確かに現在、円高等林業にとっては厳しい試験のときですが、いざ必要となっても、木材は一朝一夕には育ちません。

木の将来をしつかりと見きわめながら、向上をめざして、育てはぐくんできていきましょう。

林業改良指導員 加藤



今月の農作業

野菜

ゴボウの栽培(家庭菜園)

①特性

諸外国ではほとんど栽培されておらず、日本独特の野菜といえるゴボウ。土質はあまり選ばませんが、直根が深く伸びるので、耕土の深いところが適します。また、発芽してしまえば多少乾燥しても丈夫に生育しますが、多湿に弱く、水のたまりやすいようなところでは、根が腐りやすいので注意しなければなりません。

②品種

長根種と短根種がありますが、菜園では生育の早いものがつくりやすいでしょう。

品質では、山田早生・渡辺早生・柳川早生などが適します。

③は種時期

三〜四月にまく春まきと、九月ごろにまく秋まきがありますが、菜園には春まきが向いています。

④畑づくり

酸性土壌には弱いので、二週間以上前に一坪あたり苦土石灰五〇〇gを全面に散布し、深く耕しておきます。元肥は、畝根ができないよう一作前の野菜に堆肥を施しておくのが理想的。やむをえない場合は、一週間前に一坪あたり溶リン七〇g、硫酸カリ七〇g、化成肥料三〇〇gぐらいを施します。土地の浅い場合は、六〇cmぐらいの

畦づくりをして、根の伸長を助けるとともに湿害から守ります。また、簡易な方法として掘り取りを楽にするために、肥料袋を利用するのも良いでしょう。袋の底を抜き、元肥の入った土を入れ畑に据えればOKです。

⑤タネのまき方

畑の場合株間二〜三cmにスジまき(または一〇cm間隔に一か所五粒ぐらい点まき)し、好光性種子なのでタネが隠れる程度に薄く覆土しておきます。タネは硬いので、一日水につけてからまくとよいでしょう。また、発芽には日数がかかるので、その間は乾燥させないように注意します。

⑥間引き

本数が二枚出揃ったところから本葉四〜五枚になるころまでに二〜三回間引きし、株間一〇〜一五cmほどに一本立ちとします。

点まきしたときは、本葉一〜二枚のときに二〜三本残し、本葉が四〜五枚のときに一本にします。

⑦追肥と土寄せ

追肥初めは本葉二〜三枚時、二回目以降は土寄せ時を目安として、化成肥料を畦の肩に少量施す。土寄せはゴボウの生育に合わせて随時行う。

果樹

⑧栗の施肥

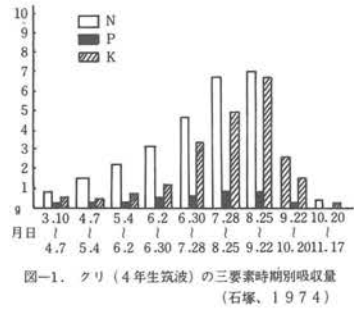
適正に管理されている栗園は少なく、肥料不足や害虫(カツラマルカイガラムシ・クリタマバチ)等

による樹勢衰弱と密植園等による反収の低い園が多くなっている。今後は大玉果の反収増加を図らないと栗の経済栽培は成り立たない。そのためには適正な施肥、縮間伐、病害虫防除等基本技術の徹底が必要である。

①チッソの吸収 チッソの吸収は萌芽より一ヶ月早い三月上旬から始まり、新梢伸長、開花結実、果実肥大と生育ステージが進むにつれて吸収が増加し、七月の新梢伸長停止期から九月下旬の収穫期にかけて最高となる。その後吸収量は急激に減少し、十月以降は極めて少なくなる。

②元肥の施用と役割 元肥は萌芽から果実肥大期までの養分供給を果たす。一年中で最も大切な肥料であり、年間の半分が施こされる。元肥施用がまだの園は遅くとも一月中旬に施用する。施用量は枝の伸び方等樹勢に応じて、目安として愛媛県肥料で一〇アルル当たり収量三百kgで七十kg位を施用する。

なお土づくりを兼ねて家畜糞尿を利用した堆肥の施用や鶏糞を施用して樹勢維持、回復を計り適正な樹相とする。



畜産

⑨ゆずの防寒対策 一〜二月は季節風も強く、寒い日が多くなるので、樹の寒風害による落葉防止、樹体被覆による防風対策と保温効果を高め、乾燥による落葉防止として、長期に乾燥する場合は灌水する。耕種的な対策として、適正な施肥、結果等に努め、蓄積養分の多い樹づくりを行うことが基本的な防寒対策となる。

酪農 年間を通して最も寒い時期になってきた。冬季は、青草や良質の乾草が不足がちになるので特にビタミンAが不足しやすい。ビタミンAの欠乏は、増体重の低下・尿石症・下痢等の原因になるのでビタミンAの飼料中添加などを行い不足しないようにする。

また、運動不足・日光浴不足になりやすいので、天気の良い日などは一時間でも二時間でも戸外に出してやるのが大切である。日光浴不足は、カルシウムの蓄積を少なくし、また繁殖機能も弱める。

また、最近ではマットを使っている所が多いが、マットは蹄が伸びやすいので、冬の間に削蹄をすませる。粗飼料も寒さのために凍りやすくなるがカブ・サイレージ等凍ったものは、とかしてから給与する。子牛に哺乳するときは、時間がかかると乳が冷えて下痢をするので、四〇度ぐらいの温度にして短時間に行う。

2月の集配予定日

- 2月1日(水)岩谷方面集配
- 2月2日(木)宇和川南方面
- 2月7日(火)月野尾・小藪方面
- 2月8日(水)中津・予子林方面
- 2月9日(木)大谷方面
- 2月14日(火)宇和川北方面
- 2月15日(水)岩谷方面
- 2月16日(木)宇和川南方面
- 2月21日(火)月野尾・小藪方面
- 2月22日(水)中津・予子林方面
- 2月23日(木)大谷方面
- 2月28日(火)宇和川北方面

2月醤油配達予定日

- 2月3日(金)大谷方面
- 2月10日(金)岩谷方面
- 2月17日(金)宇和川方面
- 2月24日(金)予子林方面

2月LPガス配達予定日

- 大谷・舷柴 2月2日(木)
- 小藪・汗生 13日(月)22日(水)
- 予子林 2月6日(月)20日(月)
- 予子林 2月8日(水)27日(月)
- 正山・中居谷 2月10日(金)25日(土)
- 月野尾・岩谷 2月15日(水)28日(火)
- 中津・小倉 2月17日(金)

お 母 さ ん は う る さ い !

私の見た子どもの世界……

第6回文化講演会

児童文化研究家・童話研究家

吉岡たすく氏



200名の方が熱心に……

いろいろな考えや人の話を聞いてそして、話は憶えなくてよい。お母さん方の時代は、忘れずによく憶えている子供が点が多かった。しかし、二十世紀は憶えるのでなくいかに忘れるかに努力しないと行けない。これだけ情報過多の時代には、憶えられない。いかに

情報の選択を

私は、小学校の教員を昭和十年から五十年までやってきた。子供は絶対に先生を批判しない。子供は先生の言うことをそのまま受けとめるので、考えてみると教師と

『お母さんの勉強室』などテレビでおなじみの吉岡たすく氏をお迎えて、第六回文化講演会を十二月十四日に肱川町公民館で開催しました。(川上商工会・肱川町公民館・肱川町文化協会の共催)
「お母さんはうるさい、私の見た子どもの世界」と題して、吉岡氏の豊富な教育体験・子供たち・お母さん方とのかかわりを通して、子供の素直な目から見た親・大人への厳しい批判の数々と子ども自身を伸び伸びと育む指導のユニークな提言をいただきました。
新しい時代に生きる子ども達のしあわせをひたすらに願ひ、育てていくことは私達大人の大きな責任です。
講演の要旨をまとめてみました。

いう仕事は世の中で、むずかしい職業だと言える。批判がないから、自分で常に考えていないととんでもない状態がおこる。
今、放送の仕事もしているが、放送で流れるといろんな批判や意見が全国からたくさんくる。お母さん方にお願ひしたい。着物にも表地と裏地があるように、いろいろな話を聞いてほしい。実践の話、理論ももちろん、好きな人の話、きらいな人の話も……
どうぞ両方の話を聞いてほしい。

いろいろな考えや人の話を聞いてそして、話は憶えなくてよい。お母さん方の時代は、忘れずによく憶えている子供が点が多かった。しかし、二十世紀は憶えるのでなくいかに忘れるかに努力しないと行けない。これだけ情報過多の時代には、憶えられない。いかに

上手に整理できるかである。

聞いて忘れ、聞いて忘れ、聞いて忘れてしまっている内に、何年か後にあなたの頭の中に知らないうちに、ダイヤモンドのように何かが光はじめ、何かが残る。これがあなたの思想である。この思想をしっかりと持っていることが、あなたのお子さんが素晴らしい人になるというところで、子育ては、教え方とかやり方のテクニクではない。
たとえば、Aの家庭は放任主義で子育てがうまくいっている。Bの家庭は厳しくしつける子育てでうまくいっている。しかし、それを見て、聞いてすぐに自分の家庭でうまくいくかというふうではない。自分の家庭ではどうやったらよいかは、我が家の考え方が中心でないといけない。だからいろいろな話をきいて、自分の考えを持つこと、そして、これからの教育には、いろいろな話をきいて、何を捨てるか何を忘れるかが大事だと思う。

工事中の母親として

子供はお母さんと違って、一秒とじっとしておれない。必ずどこかが動いている。お母さんがこうだったら病院へ行った方がよいが、子供はおかしくない。あれが本当である。何故かー。
例えば、哺乳類は子供を産む時、卵でなく実物で産む。又草食動物は生まれてから三十分以内に立て

る。つまり完成されて生まれてくるのである。
人間はどうか。“見えぬ” “聞こえない” “歩けない” 状態で生まれてくる。未完成で生まれ、大人になるまで工事をしているのがある。大きな違いがある。
大人は工事が完成しているから頭はよくはならないが、この頭をどう使っていくかになってくる。子供は使い方でなく、どう作っていくかである。

工事中の子供が「あれ何、これ何」と同じ物を何回も聞いてくると、お母さんは初めはうれしそうに、ていねいに教える(最初はうちの物が物をたずねてくれた。カシコイナーと喜ぶ)が、だんだんとうるさくなってきて、相手にしなくなる。これがいけない。頭を作っている子供は憶えようとはしないから何回も聞く。それは知りたいからではなく、あなたとの接点を求めているのである。だから、工事中的子供が五回聞ききたら、顔をしかめんと初めと同じ状態で五回覚えてやればよい。
お母さんと先生は違う。先生は免許状を持っておられるプロである。年は若くても技術も知識もお母さんよりはるかに上である。教えるという事は先生にまかせて、自分が教えるような考えはやめた方がよい。無免許運転はいけない。知っていればすぐに教えて、知らん事になると「やかましいな」と言う。そういう事をするからダメ



お母さん方の顔もたくさん……

なので、今は作っている工事中だという事を忘れずに……

お宅のお子さんが今はどういう状態であつてもよい。トレーニングの時期だから、学校の成績でえらいとかダメとか言つてはいけない。日本の教育はこの段階で点をつけている。間違っている。

工事が完成してからの本番が勝負であり、今は工事をすることに専念するのが大事である。

今の小学生は胃かいよう、肩こり、腰痛の子供が多い。又ドッチボールの時、ボールを顔で受ける子供が多くなつた。これは反射神経がぶつている。ころぶことによつて子供は反射神経をやしなう。この工事中の時期に失敗とか練習とかをじっくりさせないといけない。

素顔で子供と対決を

今、頭を作っているから、あらゆるものをおとら、子供達は学んでいく。だからお母さんが知らない内にじつと見ている。子供の作文を通して、お母さんの姿なんかをみてみたい。

通信簿をもつてきた。今日はやられるなと思つた。

家に帰つて通信簿、母ちゃんに渡した。母ちゃん通信簿にらんである。ほく、母ちゃんの顔ばかり見えた。しばらくして、母ちゃんため息ついた。「あーあ、算数は下がつてくるは、国語は前と同じやし、お前はもうアカン。」情けなそうな声出した。僕、聞いてて気の毒になつた。「母ちゃん！ よう見えてみい。後ろの方に体育と図工が上がつているやうに大きな声で教えたら、「そんなもんどつでもええんじや」

この母親の一言は、子供にもの価値判断を迷わしてくる。算数・国語より体育・図工はどうでもよいという感覚が問題。子供の伸びが違つてくる。お母さんの頭の中に考え方の問題がある。

先生きのう、ものすごく寒かつたでしょう。学校からの帰りで僕小さいむらさき色の花咲いているの見つけました。もうスミシの花が咲いていました。春が近いんです。僕、うれしくなり

ました。それでスミシの花とつて走つて帰りました。

玄関の戸開けるなり「母ちゃん見てみい」と言いました。

そしたら母ちゃんがマユシカめて「スミシくらいで大きな声出すな。」

その顔見たとたん、何にもする気がなくなりました。

子供を育てる時に、一番重要なのは母親の顔である。顔を見せないで子供に何か言つたつて効力は出ない。子供が何か言つたら、子供に何か言う時、顔を見てやることが大切。又、叱つても、ほめても一生懸命やること、そして、子供の視線と同じ高さになって話すこととで相手をどう尊重しているかということになる。工事中に子供には座つて、さわつて話してやることである。

母ちゃん仕事から帰つてきた。疲れた顔してる。それで僕、持つていたパン、二つにわつて大きい方、お母ちゃんにあげた。そして、ちよつと改まった声で「お母さま、どうぞおあがり下さい」と言つた。そしたらお母ちゃんがびつくりして、僕の方を見た。それで僕は、持つていたパンをマイクがわりにしてアナウンサーのつもりで「いかがですかお母さん、「感想どうぞ」というた。そしたらお母ちゃんが急に背伸ばして「ハイハイ、感謝、感激、雨あられです」と大きな口あけて笑つた。僕もう



子ども達の幸せをひたすらに願う

れしくなつて笑つた。

母ちゃんやつぱり、笑つてる方がいい。

母親の顔を見て、疲れを察知して

抱きしめよう

心が安まるために何が必要か。私は小さい子ほど、さわつてやる事、抱く事だと思ふ。お母さんが抱く、このことが教育の中でもすごく大事な事だと思ふ。

中学生、高校生の工事が完了した段階になると親に抱かれようといふことはない。抱かれようといふことは、抱いたらいけない。親は後ろから我が子を追うなどということである。

それなら抱かれたくないと言ふまでは、しっかり抱いてやる。さわつてやることである。そういう子供ほど親を思うようになる。

いる、自然の形です。だから、お母さんは顔をよくすること(内面)。お母さんの教育の顔は素顔でないといけない。朝起きた時の顔。その本物で子供と対決しないといけない。子供はいじくりまわさんでも自分で賢くなる。応援団でなく本人の頑張りが大事。そのためは、あなた自身の体を丈夫にすること。それによつて顔がよくなつてくる。その顔が子供を安心させる。心が安定することによつてやる気が出てくる。お母さんが沈んでいると子供は心配し、不安定になる。心の安定と実力の発揮はものすごく相関関係がある。

小さい時に、うるさい、あつち行けと言つておいて、中学生になつて近寄ろうとする。これが子離れできない親であろう。

三人姉妹のお姉ちゃんの作文(小学校三年生)

お母ちゃんと私と二人きりで、お父ちゃん迎えにバス停まで行つた。冷たい風がビュンビュン吹いていた。

お母ちゃんが「今晩は寒いなあこの中入りや」と言つて、お母ちゃんのオーパーの中に私を入れてくれた。ものすごくあつたかい。お母ちゃんのおいがいっぱいいた。

私は心の中で、このままバスが来なければいいなと思つた

この子はいつもは、長女なのでこんな機会がめったにない。まして母親のオーバーの中に入るなど…。お母ちゃんと二人でこのままいたいなあーという心情がよくでてくる。姉ちゃんだから、しっかりしてるから、という判断でなく、子供はみんなさわってもらいたいと思ってる。それを忘れないように…。

それと子供のやる気を育てるためには、できるだけだまっていればよいと思う。やる気を持つ。

朝、僕が学校に行くまでお母ちゃんの言うことが決まっていた

明くる日・さよならびじゅびじゅび・あきらめない

最後にお母さんをお願いしたいことがある。

①お母さんは子供をあきらめるなということ。

②絶対にお母さんは明るいということ。

③ちよっぴり、お母さんはぬけているということ。

授業参観はじまった。母ちゃん来てるかなと後ろふり向いたら母ちゃん隅の方に座って、僕の方から見てる。

もうダメだ。まちがったら大変。思った瞬間、手が上がらなくなった。一時間中、手を上げられなかった。帰ったら又、文句いわれるわいと思いつながら、

る。「時間割の合わしたな」「ハンカチ持ったか」「宿題入れたな」「忘れもないんか」

朝起きて服を着てたら「早よ顔洗いや」と言う。顔を洗うてたら「早よ」「はん食べや」「はん食べかけたら」「ポツポツ行かな遅い」という。次に僕がしよつとすることを必ず先に言う。毎朝、同じことを忘れんとしよつとやるな。

これでは、子供のやる気はおこらない。自分で…が大事。

今日はゆつくり帰った。

「だいま」と言って、お母ちゃんのそばに行こうとしたらお母ちゃん、こっちむいた。

その顔見た途端、僕はおやついつもの母ちゃんと違うと思つた。母ちゃんが笑っているような気がする。そばへ行ったらお母ちゃんが「なあ、今日何かあったんか。特別にたくさんお母さんが来てたでしょ。いつもの授業参観日の倍は来てたと思うわ

ちよつとなあ、お前聞けどなあ、あの中やったらなあ、お母ちゃんまだ若い方やお。私はどう答えてよいか、わからなかった。

このお母さんのように、授業参観の後で、これくらい余裕があるとき。非常に明るい。

私のお母ちゃんはいつも忙しく家の中動きまわって、よく働く母ちゃんです。でもちよつとのおん気なところがあるんです。買い物に行つて、よく忘れものしてきます。買い足しはいつも私が行きます。おかずを炊いていて、よく焦げつかします。その時は必ず、鍋にむかつて「お前が悪いぞ」と言います。

そのお母ちゃんが私に、「お前はポーツとしてるなあ」と言います。

私はお母ちゃん見ていたら、ごつしても手伝いたくなります。このように、子供にホッとさせ、安心感を持たせるのが大切。

お母さんが少しぬけているというのが子供にとっても家庭にとっても、大事なことであろうと思つて、考えてみたら、お母さんだけでなく魅力のある人というのは、どこか抜けていると思える。

お母さんは明るくて、ちよっぴりぬけていて、絶対子供をあきらめないで、見ていただきたい。子供さん達の幸せをひたすら願っている。



読書グループの誕生



「寒椿」を読んで…

コスモス読書会会員十色では、第一回読書会を十二月六日に公民館で開き、事前に配本した宮尾登美子著「寒椿」について、感想を述べ合いました。冬の寒さに耐えて咲く寒椿のごとく、厳しさの中に自分の生き方を求めた彼女達について、会員それぞれの受けとめ方を意見交換し合いました。

同じ一冊の本を読み、自由に感想を出し合つて心のふれあいの輪を広げてゆきたいものです。難しい本を読んで難しい話をするのではありません。興味のある方は、どうかお気軽に公民館へご連絡下さい！

バス待ちが楽になりました 宇和川停留所に待合所が…

宇和川駅の停留所は国道がせまく、待合所もなかったため、小学生やお年寄りには危険でありましたが、この程汗生部落の有志の方々の手によって、待合所が完成しました。

お互いの地域、よく見まわして、気がついた事から実践していきましょう。



新春カルタ大会を開きます。
・とき 平成元年二月十九日(日)
・午前九時三十分から
・ところ 脇川町公民館

・参加料 五百円(昼食代)
・その他 どなたでも参加できます。是非、おいで下さい。
申し込みはいりません

みんなのしあわせを願って(4)

日本人の人権感覚は先進国か

脇川中同和教育主任 山口竹雄

一、「世界の中の日本」と言えるか
 「国連総会は五日、南アフリカ共和国のアパルトヘイト(人種隔離)政策を強く非難、特に同国との最大の貿易相手国である日本に対しては、名指しで貿易関係を断絶するよう求めた厳しい内容の制裁決議を賛成一二三、反対一二、棄権一九で採択した」以上は昨年十二月七日付朝日新聞の一部分です。今日、わが国は経済的には世界の大国となりました。世界一豊かな国と言っても過言ではないでしょう。ところが、人権感覚はどうだろうか。あの悪名高いアパルトヘイト政策をいっこうにあらためようとする南アフリカ共和国との貿易額が、ついに世界一となりました。一九八七年に、経済活動を縮小させているアメリカを抜いたのです。

アパルトヘイト政策とは、人口三千三百万人のうち、一五%の白人が、七三%の黒人に対する徹底した差別政策で、法的に公然と実施されているのです。世界各国、国連等から厳しい批判を受けるのも当然のことでしょう。

ところで、アメリカやヨーロッパでは、政治家が一度差別発言をすると確実に命取りになります。一方、日本の場合はどうでしょうか。差別発言を何度も繰り返している政治家さえいるのです。そして問題が起きるたびに「すみません」の一言で終わるのです。

また、日本人が差別発言や差別をした場合、まわりの人はどうでしょう。何かのまちがいだろ。」「あの人はそんな人じゃな。」「などと言って差別者をかばっているのです。『差別は絶対にかん』という人権感覚は、まだまだ定着していません。

世界のリーダーとして、日本の果たす役割はますます大きくなっています。しかし、そこで忘れてならないことは「世界の中の日本」ということではないでしょうか。

二、中学生の人権感覚

本校の中学生の人権感覚はどうでしょうか。私が強く感動した人権作文を紹介したいと思います。この作品は、二年生岩仲美佳さんのものです。

「ひよこと人間」

今年の夏、私の家に「ウコッケイ」という種類のひよこが6羽生まれました。その中で、一羽は片方の足が、もう一羽は両方の足が立ちません。生まれてから今日、九日目に入るといふのに。でもひよこは、足が立たないからといって、エサを食べなかつたり、水を飲まなかつたりはしません。ほかのひよこたちと同じように、一生懸命に生きています。

昼間は、ほかのひよこたちが四方も足のたたないひよこを踏みつけることがたまにあります。でもその時は、片方の足のひよこがそばにいるのです。そして、両方の足ともダメなひよこを別の箱へ持っていったりすると、そのひよこも、また別のひよこも「ビイビイ」と鳴くのです。きつとさびしいでしょう。

私はそれを見てみると、人間はなんて悲しい生きものなんだろうと思います。ひよこは、人間の何十分の一という小さな生きものですが、そのひよこたちでさえ、いくら足が立たなくても、助け合って生きていこうとしているのです。わかっているのか、わからないのか知らないけれど、足の立たないひよこは、ほかのひよこたちのように、早く二本足で立って歩けるように努力しているのです。

人間は、いじめがごわいとか、成績が下がるとかなどの、ささいな理由で自殺する人が多すぎます。「人間の命は地球よりも重いのです」自分の命の大切さを考えてみて下さい。それと、人間の世界にはなぜ「いじめ」があるのですか。思いやりといたわりのところがあれば、いじめなどできないはずですよ。また、まわりで見ている人たちも何か行動できるはずですよ。

今、六羽のひよこたちはすくすくと育っています。そして眠る時は電気をつけてねさせます。その

私が青年団活動を始めて七年になります。現在、喜多郡連合青年団の団長をやっております。今まで経験したことのないことばかりで、この一年、喜多郡の青年団行事を消化するに精一杯でした。

高校を卒業して、先輩に誘われるままに青年団に入団して七年。知っている顔よりは、知らない人達の方が多いくらいで、人見知りをする私は、何か行事があるたびに参加はしましたが、端っこで小さくなっていました。

しかし、行事も何回か参加していくうちに、役員の人達にも顔をおぼえてもらい、しだいに青年団

リレー随筆 (195)

青年団と私

久保 丸川浩一



思っています。今、青年団員は減る一方でなかなか新入団員がありません。しかし、町内にはまだまだたくさん若者がいます。この若者たちに、私たち青年団員が声をかけあってそして、新しい友達

の輪を広げていきたいと思います。

町外に出れば、いろいろなレクリエーションの場がありますが、私達青年のためたまり場である、公民館の青年室を、会話をしたり、活動するため、有効に使っていければと思います。

又、若者が協力し合って、脇川町を住みよくしたり、自分達の生活を高めたり、そういう活動も考えていく必要があると思います。

平成元年のスタートの年にあたり、個人の力では何もできませんが、団員力を合わせて味の濃い団活動を行いたいと思います。

い出ていくのが楽しくなりまし。それから、人間関係もできてきたように思います。又、仕事と両立することも苦勞しましたが、何とか今までやってくることができました。これも他の団員の協力があったからだ

ねる時も、六羽が一緒にかたまわってねむるのです。その姿はとってもかわいいです。ひよこの世界には、仲間はずれもいじめもありません。すばらしいことだと思いき

す。人間だってひよこだって同じではないでしょうか。たとえ気にいらなくても人間は人間です。みんな助け合い、協力し合って生きていこうではありませんか。

保健・衛生

健康相談

| 日程 | 場所 | 時間 |
|----------|-------|---------------|
| 2月15日(水) | 中津集会所 | 午前10時 ～11時 |

健康づくり料理教室

| 日程 | 場所 | 時間 |
|----------|--------|--------------------|
| 2月28日(火) | 正山公民館 | 午後2時 ～ 午前10時 |
| 2月24日(金) | 大谷公民館 | |
| 2月20日(月) | 脇柴集会所 | |
| 2月17日(金) | 予子林公民館 | |
| 2月13日(月) | 小藪集会所 | |
| 2月9日(木) | 共栄集会所 | |

1歳6カ月児・
3歳児健康診査

| 日程 | 場所 | 時間 |
|---------|--------|-------------|
| 2月2日(木) | 保健センター | 午後1時 ～2時 |

妊婦健康診査

| 日程 | 場所 | 時間 |
|----------|--------|----------------|
| 2月23日(木) | 保健センター | 午後1時30分 ～3時 |

2月の不燃物収集

▽収集日 2月15日(水)(出すのは2月14日中に)

▽収集地区

正山・岩谷・予子林地区・上森山・中野(篠谷・滝山)・鹿野川・京造・月野尾・見の越

不用犬回収日

▽日時 2月14日(火) 午前9時まで

▽場所 役場

※印鑑をご持参ください。

相談ごと案内

心配ごと相談

▽時間 午後1時30分～4時30分
▽場所 脇川町公民館

| 相談日 | 担当相談員 |
|----------|---------------|
| 2月6日(月) | 福田真保 |
| 2月20日(月) | 兵頭芳一 西本喜和子 |

行政相談

2月の日曜・祝日当直医

| 日 | 当直医 | 電話 |
|--------|--|--------------------|
| 5日(日) | 沢井耳鼻咽喉科医院 (大洲市中村) 曾根医院 (内子町) | 24-2510 44-2801 |
| 11日(土) | 沢井小児科医院 (大洲市中村) 芳我外科医院 (内子町) | 24-7530 44-2560 |
| 12日(日) | 亀井小児科医院 (大洲市東大洲) 堀川医院 (内子町) | 24-3757 43-0555 |
| 19日(日) | 松尾産婦人科医院 (大洲市中村) 宝来医院 (内子町) | 24-5803 44-2248 |
| 26日(日) | 池田泌尿器科皮膚科医院 (大洲市東大洲) 小川医院 (内子町) | 24-3100 44-2815 |

※変更になる場合がありますので前もって連絡してからお出かけ下さい。

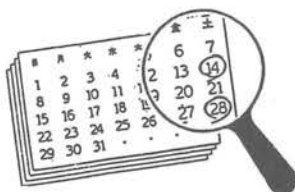
救急病院

| 曜日 | 病院名 | 電話 |
|-----|--------------------|---------|
| 月・火 | 大洲市立病院 (大洲市大洲) | 24-2151 |
| 水 | 加戸病院 (大洲市若宮) | 24-5101 |
| 木～日 | 大洲中央病院 (大洲市東大洲) | 24-4551 |

国の行政機関は、1月から

第2・第4土曜日は

休みとなります。



ただし、

次の行政機関は、今までどおりです。

- 土曜・日曜でも交替制勤務のところ……国立病院・国立大学附属病院の病棟部門・主要空港の税関・地方入国管理局・検閲所・集配郵便局の郵便部門など
- 学校・病院……国立大学・附属小・中・高等学校/国立高等専門学校/国立病院の外來部門など
- 週末に利用率が高いところ……博物館/美術館など

心温まる寒中見舞いを
厳しい寒さの中で毎日を通じて
しておられる親戚や友人など、
日ごろお世話になっている方々
へ寒中見舞いをお出しになっては
いかがでしょうか。受け取った
方に、きつと温かさをお届けで
きることを思います。
また、年末や年始のあわただ
しさの中で年賀欠札をなされた
方は日ごろのごぶさたをわび、

道野尾 山下 敦さん
長女 彩香ちゃん
小藪 西田幸夫さん
長男 和希ちゃん

★★★★★
ごめいふくを
お祈りいたします
★★★★★

中津 大野 孝一さん
(88歳)

郵便局だより

▽日時 2月6日(月)
午後1時30分～4時30分
▽場所 脇川町公民館
▽相談員 福田 保 委員
※自宅相談も受け付けておりま
す。(電話三四一二五〇八)

☆☆☆☆☆
お誕生おめでとう
ございます
☆☆☆☆☆

近況報告をかねて、寒中見舞を
差し出されてはいかがですか。
ただいま、寒中見舞用葉書を
発売しております。